

2012年8月15日
 郵便局株式会社 東京支社

オリジナル フレーム切手セット 『東急池上線開業 90 周年記念』の販売開始について

郵便局株式会社 東京支社（東京都港区、支社長 山口 一弥）は、下記のオリジナル フレーム切手セットの販売を開始します。

このオリジナル フレーム切手セットは、東急池上線開業90周年を記念して販売します。

開業当時の駅舎の風景や各種車両などを題材にし、ポストカードと解説紙をセットにして品川区、大田区内の郵便局で限定販売します。

記

1 切手セットの概要

名称	東急池上線開業 90 周年記念
販売開始日	2012年8月27日（月） ※8月26日（日）池上祭の会場にて郵便局臨時出張所を開設し、先行販売を実施します。 場所：池上会館、池上小学校およびその周辺 時間：10:00～15:00（雨天中止）
販売セット数	4,100 セット（予定）
販売郵便局	品川区、大田区内の郵便局、東京中央局、日本橋南局、西新橋局（117局）
セット構成	1セット 80円切手×10枚、ポストカード4枚、解説紙1枚
販売単位	上記セット単位で販売します。
販売価格	1セット 1,500円

 2 切手デザイン等
 別紙のとおり

3 その他

- (1) 本フレーム切手セットは、9月5日（水）より郵便局ウェブサイト「郵便局のネットショップ」でもお取り扱いします。（<http://www.postal-jp.com/psc/goods/index.html>）
 ※なお、「郵便局のネットショップ」でお取り扱いするフレーム切手セットには販売価格（1,500円）のほか郵送料等が加算されます。
- (2) 詳細は下記へお問い合わせ下さい。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

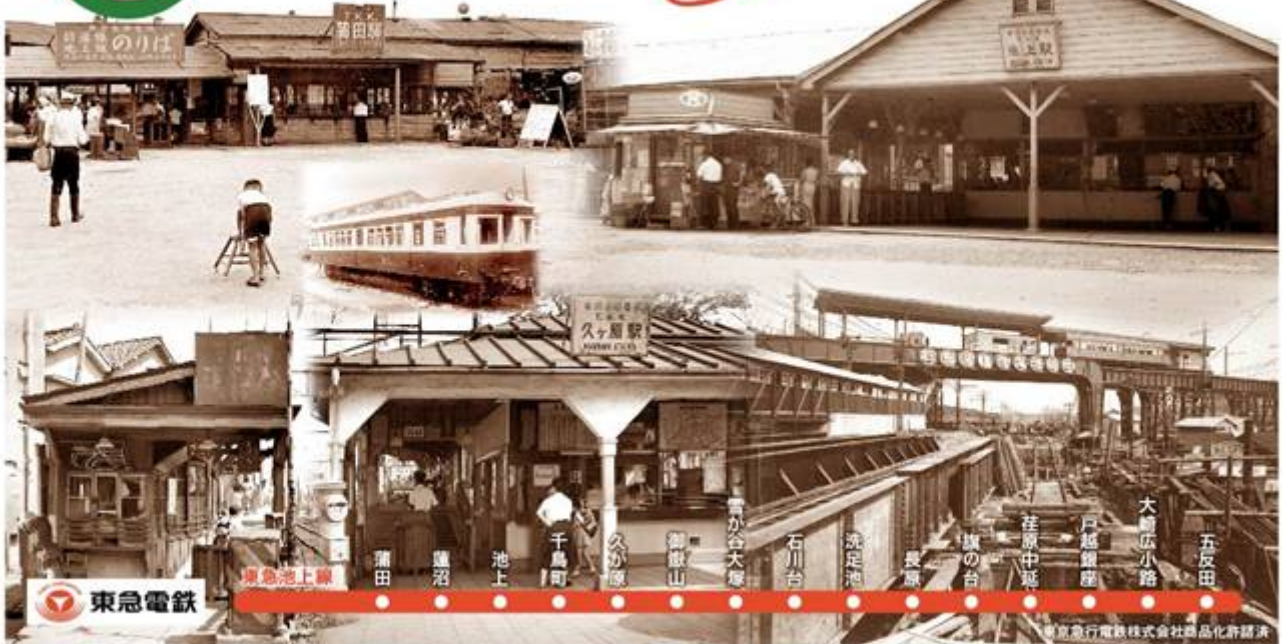
 郵便局株式会社東京支社企画部（広報担当）
 電話：（直通）03-5574-9505 （FAX）03-5574-9528

【お客さまのお問い合わせ先】

 郵便局株式会社東京支社営業本部（物販・新規事業担当）
 電話：（直通）03-5574-9551



池上線開業90周年記念



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON



80 NIPPON

80 NIPPON



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

© 東急行電鉄株式会社製



【ポストカードデザイン】
デザイン面



あて名面 (共通)



東急池上線 90年の歴史

池上電気鉄道は、大正10年5月18日、池上駅予定地で第一期線となる池上～蒲田間1.8kmの起工式を挙行し、大正11年10月6日に開業を果たした。車両は駿遠電気(現:静岡鉄道)から譲り受けた新式ボギー車2両であった。



写真 昭和33年頃

蒲田駅

大正11(1922)年 10月6日開業

池上電気鉄道の蒲田駅は、明治37年から開業していた京浜線蒲田駅(現:JR東日本)に対し、丁字形になるような位置で開業。大正12年には、旧蒲田電鉄が、京浜線に併行するように乗り入れてきた。戦前から商工業地として栄え、松竹映画の蒲田撮影所も大正9年から16年間にここに存在した。昭和20年の空襲で、この一帯も焼失した。その後の復旧で池上線と日産線は並行に乗り入れるようになったが、仮設業のような簡素な駅舎であった。本格的な復興には時間がかかったが、昭和43年には本格的な駅ビルを併設した高層ターミナル駅となった。



写真 昭和33年頃

蓮沼駅

大正11(1922)年 10月6日開業

池上電気鉄道の開業時は、広大な住宅予定地が広がり、その中に池上競馬場が開設されていた。開業大震災後、急速に住宅化が進んだ。



写真 昭和33年頃

池上駅

大正11(1922)年 10月6日開業

池上は、日蓮宗大本山、池上本門寺の門前町である。毎年恒例のお盆に对应するため、駅前広場も格別広い。駅から500mほどの場所に位置する本門寺への参詣客の輸送を見込んだものであった。

続いて、第二期線として雪ヶ谷～池上間が大正12年5月4日に開通した。



写真 昭和33年頃

千鳥町駅

大正15(1926)年 8月6日開業

開業時駅名:慶大グラウンド前/昭和11年1月1日に千鳥町に改称
慶應義塾大学の施設が旧吉に移転したため、「千鳥町」に改称された。池上線の特徴であった背の高い高圧鉄塔は駅を過ぎ、第二京浜を越える土手付近で終わるが、長い間池上の位置目録であり、ランドマークにもなっていた。



写真 昭和33年頃

久が原駅

大正12(1923)年 5月4日開業

開業時駅名:末広/昭和3年4月13日東調布に改称、昭和11年1月1日久が原に改称、昭和41年1月20日久が原に改称
駅東側一帯を中心に、旧池上電気鉄道が開業時に分譲した広大な住宅地が続き、駅付近はそれに伴い、商業地が発展している。駅西側側は、旧日産線(現:東急多摩川線)が並行してきて、その間を国分寺線側の台地が割れ込み、緑豊かな住宅地になっている。



写真 昭和33年頃

御嶽山駅

大正12(1923)年 5月4日開業

開業時駅名:御嶽山前/昭和8年6月1日御嶽山に改称
御嶽山の駅名は、長野郡王滝村の御嶽神社の分配にちなんで名付けられた。現在のホームからは、交差する形で東海道新幹線・横須賀線を見下ろすことができる。



写真 昭和33年頃

雪ヶ谷大塚駅

大正12(1923)年 5月4日開業

開業時駅名:雪ヶ谷/昭和5年6月1日調布大塚と統合、昭和18年雪ヶ谷大塚に改称、昭和41年1月20日雪ヶ谷大塚に改称
開業時の「雪ヶ谷」は、かなり「石川台」寄りにあったが、新奥武蔵開通とともに現在駅北側の踏切に接した場所に移動した。新奥武蔵が廃止になる直前、「調布大塚」と統合され、駅名は雪ヶ谷大塚となった。

その後賃金制や路線変更申請などのために第三期工事着手が遅れたため、側ヶ谷～雪ヶ谷間の開通は昭和2年8月28日であった。



写真 昭和33年頃

石川台駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

開業時駅名:石川/昭和3年4月13日に石川台に改称
付近の閑静な住宅地と少しモダンな形の駅舎が残る駅は、昔から映画の撮影地としてたびたびスクリーンに登場した。



写真 昭和33年頃

洗足池駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

池上線開通当時から行楽地で、春秋の季節には多くの人々でにぎわった。戦前には臨時改札口や折り返し電車も運転されるほどであったという。



写真 昭和33年頃

長原駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

昭和43年に踏切の文化化工事に併せて長原駅は地下駅化した。付近は、上池台・中馬込地域の玄関口で古くからの商店街がにぎわっている。



写真 昭和33年頃

旗の台駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

開業時駅名:旗の台/昭和26年5月1日大井町線 東洗足と統合、旗の台に改称
池上線で一番新しい駅である。乗換と構造には一部不便なところもあったが、平成30年に大井町線の急行待避設備設置工事にあわせて、同線との乗換と設備も改良された。



写真 昭和33年頃

荏原中延駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

駅は開業以来の構内踏切をもつ典型的な相対式構造の本造駅舎だったが、平成元年に戸越銀座～旗の台の連続立体化に併せて地下駅化した。



写真 戸越銀座～旗の台開通

戸越銀座駅

昭和2(1927)年 8月28日開業

大正12年の開業大震災当時、道路の下水工事に中央区銀座通りから搬入された煉瓦敷きを利用したことから、戸越銀座と命名されたという。また、駅は池上線に多い典型的な相対式ホームの形を残している。

昭和2年10月9日に大崎広小路～側ヶ谷間が開通。その後、五反田～大崎広小路間の工事は全線高架のため困難をともない、半年後の昭和3年6月17日に全線が開通した。
昭和9年に池上電気鉄道は日産蒲田電鉄に合併された。



写真 昭和33年頃

大崎広小路駅

昭和2(1927)年 10月9日開業

開業から8か月ほどは、池上線の終点であった。非混雑は戦前から商工業と文教地域として栄え、今日に於いても朝夕の乗降客は少ない。



写真 昭和33年頃

五反田駅

昭和3(1928)年 6月17日開業

池上線が五反田まで全通したのは昭和3年6月17日のことで、初めて蒲田～池上間が開通してから6年近く後のことである。
当時としては他に例をみない高さのプラットフォームで、富士山をはじめとする素晴らしい眺望を楽しめた。

昭和2年8月28日に、大崎広小路駅～戸越銀座駅の間に側ヶ谷駅が開業した。同年10月9日までの短い期間には、蒲田方面からの終端駅として存在した。正式に廃止になったのは昭和28年8月11日のことである。